

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 10 日現在

機関番号：11201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2021～2023

課題番号：21K00885

研究課題名(和文) 日本に所蔵される中国古印に関する調査研究—岩手県立博物館蔵品を中心として

研究課題名(英文) Research on Chinese ancient seals held in Japan-Focusing on the collection of the Iwate Prefectural Museum-

研究代表者

劉 海宇 (Liu, Haiyu)

岩手大学・平泉文化研究センター・客員教授

研究者番号：70649441

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、岩手県立博物館が所蔵する先秦期から清代にわたる官印と私印等1094顆中国古印を中心とした調査研究である。印譜のみによる従来の平面的研究法を脱して古印の印影・印面・印鈕・法量(縦・横・高・重量)を徹底的に調査し、あわせて釈文・分類(官印・私印等)・著録目などの情報を総合的・体系的に検討整理することにより、考古学と文献史学的研究手法を通してこれらの古印の固有の価値を解明した。

具体的には岩手県立博物館蔵古印を中心とした関連研究論文12本は雑誌等に掲載され、著書『日本岩手県立博物館蔵太田夢庵旧蔵古代璽印』などは刊行された。日本に所蔵される中国古印研究を大きく推進した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義としては、岩手県立博物館蔵中国古印を中心としてデジタル機器を活用して古印の印影・印面・印鈕・法量などを詳細に調査し、釈文・分類(官印・私印等)・著録目などの情報を総合的・体系的に検討整理してこれら古印の歴史的学術的な価値を解明した。また、中国で出土した簡帛・封泥・文献等の資料と照合しながら、考古学と文献史学的研究手法を通してかつ最新の古代文字学知識をもって未解読である古印の文字を釈読した。

社会的意義としては、研究論文12本・著書2冊は刊行され、岩手県立博物館などに所蔵される中国古印等を国際的に宣伝して広く世の中に知らされた。

研究成果の概要(英文)：This research is a survey of 1,094 ancient Chinese seals, including official and private seals from the pre-Qin period to the Qing Dynasty, which are held by the Iwate Prefectural Museum. Comprehensively and systematically examining and organizing information such as texts, classifications (official seals, private seals, etc.), and bibliographies, we have elucidated the inherent value of these ancient seals through archaeological and philosophical research methods.

Specifically, 12 related research papers centered on the Iwate Prefectural Museum's collection of ancient seals were published in magazines and other publications, and the book "Japan Iwate Prefectural Museum Collection Ota Muan Old Collection Ancient Seals" was published. This research greatly promoted the study of ancient Chinese seals in Japan.

研究分野：人文学

キーワード：中国古印 中国考古学 中国史

## 1. 研究開始当初の背景


日本に中国古印が多く舶載されるようになったのは、辛亥革命(1911年)以降である。現在一万点余り中国古印が日本に収蔵されており、岩手県立博物館以外に藤井有鄰館・大谷大学・和泉市久保惣記念美術館(園田湖城旧蔵品)・寧楽美術館などにも収蔵され、「印章五大コレクション」とされている(久米雅雄 2017『寧楽美術館の印章』思文閣出版)。岩手県立博物館は、中国古印の入蔵後、1990年に企画展「中国古印-太田孝太郎コレクション」を開催し、30頁にわたる図録は刊行されたが、収録された印の数も全体数から見るとごく少なく、詳細なデータは記載されていない。その後も多くの参観者や研究者が訪れているが、研究成果の発表は極めて少なく、且つ限定的である。

## 2. 研究の目的

本研究では、岩手県立博物館蔵中国古印 1094 顆を中心として、デジタル機器を活用して古印の印影・印面・印鈕・法量などを詳細に調査し、実物を観察し、鮮明な画像処理を行い、これらの全情報を公開して、考古学と文献史学的研究手法を通して中国古代制度史・社会史・芸術史においてその固有の価値を明らかにし、今後の学術的研究や篆刻芸術の発展に十分資する古印資料を提供することを目的とするものである。また中国で出土した簡帛・封泥・文献等の資料と照合しながら、および最新の中国古代文字学知識をもって未解読文字を釈読することにより、古代史や古文字学の研究に資することを、副次的目的とする。

## 3. 研究の方法

具体的には、まず太田夢庵の刊行した『夢庵蔵印』の初印本と再印本・『楓園集古印譜』・『楓園集古印譜続集』といった印譜の印影を調査し、岩手県立博物館蔵中国古印「資料基本カード」の登録番号と照合して、太田コレクションから岩手県立博物館蔵中国古印への沿革及び現存状況を明らかにする。つぎに、印影と対照しながら、古印を詳細に観察し、写真撮影・法量計測および印文模写等をして、整理表を作成する。先秦古璽を例にすると、次のように番号・印影・印面写真・鈕形写真・釈文・規格重量・国別・分類・著録目といった項目を立てて整理する。

初印 <sup>◇</sup>	再印 <sup>◇</sup>	縣博 <sup>◇</sup>	印影 <sup>◇</sup>	印面照片 <sup>◇</sup>	印鈕照片 <sup>◇</sup>	釋文 <sup>◇</sup>	規格(縦・横・高、 単位mm)、重量 <sup>◇</sup>	國別 <sup>◇</sup>	分類 <sup>◇</sup>	著録目 <sup>◇</sup>
初 M3 <sup>◇</sup>	再 M2 <sup>◇</sup>	博 M1 <sup>◇</sup>				𡗗(職)𡗗(判) 之𡗗(璽) <sup>◇</sup>	30.0×31.4× 11.9、24.9g <sup>◇</sup>	楚系 <sup>◇</sup>	官璽 <sup>◇</sup>	魏石 3、璽量 320、彙考 159、定全 14、夢選 6、 印風 94、分域 158 <sup>◇</sup>

さらに、簡帛・封泥・文献等の資料と照合しながら総合的な歴史学的考古学的研究を行い、古印の固有の価値を歴史学的に解明する。最後に最新の中国古代文字学知識をもって岩手県立博物館「資料基本カード」やほかの著録に未解読または誤解読の印文を解読する。たとえば、次の未解読や誤解読の印文をそれぞれ解読し、「𡗗=」、「𡗗」、「𡗗」等の字の釈読理由を明らかに考証する。

なお、必要に応じて古印の印文に潜んでいる当時の人々の精神的希求・宗教思想・権利意識や自己表示の方法等に注目して分析・解明する。

## 4. 研究成果

本研究は、岩手県立博物館蔵中国古印において、その固有の学術価値を歴史学的に解明し、未解読の印文を解読した。また、詳細な調査データのもとに、館蔵番号・印影・印面写真・鈕形写真・釈文・規格重量・国別・分類・著録目といった項目を立てて整理し、『日本岩手県立博物館蔵太田夢庵旧蔵古代璽印(精華版)』を出版した。予定した研究計画を徹底して十分な研究成果を獲得した。なお、関連内容として日本大和文華館及

び和泉市久保惣記念美術館蔵中国古印の調査研究もある程度実施した。

#### 論文

- 1 . 劉海宇、「日本和泉市久保惣記念美術館蔵秦漢印選釈」、『故宮博物院院刊』2023年12期、102 - 109 頁、査読有。
- 2 . 劉海宇、「大和文華館所蔵の中国古印について」、『大和文華館紀要』143号、2023年9月、19 - 23 頁。
- 3 . 劉海宇、「漢代斗檢封考」、『東方考古』第21集、2023年7月、343 - 353 頁、査読有。
- 4 . 劉海宇、「日本大和文華館蔵古璽印的調査与研究」、『中国篆刻』2023年3期、30 - 39 頁、査読有。
- 5 . 劉海宇、「秦漢三国時期塩業官印輯考」、『塩業史研究』2023年第2期、3 - 11 頁、査読有。
- 6 . 劉海宇、「『楓園集古印譜』所収古璽研究」、『印学研究』第18集、2023年2月、103 - 112 頁、査読有。
- 7 . 劉海宇、「所見内藤湖南自用印中的中国篆刻名家作品」、『書法』2022年第8期、168 - 173 頁、査読有。
- 8 . 劉海宇、「唐宋以来塩業古官印輯考」、『塩業史研究』2022年1期、30 - 38 頁、査読有。
- 9 . 劉海宇・玉澤友基、「日本岩手県立博物館蔵古璽印的學術価値」、『書法』2022年第2期、62 - 69 頁、査読有。
- 10 . 劉海宇、「『梅華堂印賞』及其學術価値」、『戦国文字研究』第4輯、2021年12月、51 - 63 頁、査読有。
- 11 . 劉海宇・玉澤友基、「新発見羅振玉篆刻五方」、『中国国家博物館館刊』2021年第10期、123 - 131 頁、査読有。
- 12 . 劉海宇・玉澤友基、「『夢庵蔵鈎』所収有銘銅帶鈎調査研究」、『青銅器與金文』第6集、2021年6月、182 - 192 頁、査読有。

#### 著書

- 1 . 劉海宇・玉澤友基、『太田夢庵中国金石収蔵与蔵品著録』、上海書画出版社、2024年3月27日、1 - 322 頁。
- 2 . 劉海宇・玉澤友基、『日本岩手県立博物館蔵太田夢庵旧蔵古代璽印(精華版)』、上海書畫出版社、2021年12月、1 - 299 頁。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 劉海宇	4. 巻 12期
2. 論文標題 日本和泉市久保惣記念美術館蔵秦漢印選釈	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 故宮博物院院刊	6. 最初と最後の頁 102 - 109
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 巻 143号
2. 論文標題 大和文華館所蔵の中国古印について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 大和文華館紀要	6. 最初と最後の頁 19 - 23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 巻 21集
2. 論文標題 漢代斗検封考	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東方考古	6. 最初と最後の頁 343 - 353
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 巻 第2期
2. 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塩業史研究	6. 最初と最後の頁 3 - 11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 2023年第2期
2. 論文標題 秦漢三国時期塩業官印輯考	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 塩業史研究	6. 最初と最後の頁 3-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 第21集
2. 論文標題 漢代斗檢封考	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東方考古	6. 最初と最後の頁 343-353
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 第143号
2. 論文標題 大和文華館所蔵の中国古印について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 大和文華館紀要	6. 最初と最後の頁 19-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 2023年第12期
2. 論文標題 日本和泉市久保惣記念美術館蔵秦漢印選釈	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 故宮博物院院刊	6. 最初と最後の頁 102-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 第18集
2. 論文標題 『楓園集古印譜』所収古璽研究	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『印学研究』	6. 最初と最後の頁 103 112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 第8集
2. 論文標題 『千石蔵鏡』所収漢鏡銘文校釈	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『青銅器與金文』	6. 最初と最後の頁 265-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 2022年第8期
2. 論文標題 所見内藤湖南自用印中の中国篆刻名家作品	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『書法』	6. 最初と最後の頁 168 173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 無し
2. 論文標題 日本大和文華館蔵古璽印の調査與研究—兼説戦国文字中從犬羊的「幸」字	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第33届中国文字学国際學術研討會論文集	6. 最初と最後の頁 139 149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 2022年12月7日
2. 論文標題 從五百個漢字走進古文字世界	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中華読書報	6. 最初と最後の頁 16版
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 1
2. 論文標題 唐宋以来塩業古官印輯考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 塩業史研究	6. 最初と最後の頁 30 - 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇、玉澤友基	4. 卷 2
2. 論文標題 日本岩手県立博物館蔵古璽印の学術価値	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 書法	6. 最初と最後の頁 62 - 69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 卷 4
2. 論文標題 『梅華堂印賞』及其学術価値	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 戦国文字研究	6. 最初と最後の頁 51 - 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 巻 -
2. 論文標題 新見秦漢印五方	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 上海復旦大学出土文献与古文字研究中心HP2021年12月27日	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇・玉澤友基	4. 巻 10
2. 論文標題 新発見羅振玉篆刻五方	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国国家博物館館刊	6. 最初と最後の頁 123 - 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇・玉澤友基	4. 巻 6
2. 論文標題 『夢庵藏鈎』所収有銘銅帶鈎調査研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 青銅器與金文	6. 最初と最後の頁 182 - 192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉海宇	4. 巻 -
2. 論文標題 從相關古璽字形說清華簡『迺命(二)』用為「掩」的字	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 簡帛網2021年8月2日	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 劉海宇
2. 発表標題 古璽文字與其他類戰国文字合証举例（四則）
3. 学会等名 清華大学和合文明論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 劉海宇・松村一徳
2. 発表標題 和泉市久保惣美術館藏古璽の調査與研究
3. 学会等名 日本中国出土資料学会2022年度第2回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 劉海宇
2. 発表標題 唐宋以來塩業古官印輯考
3. 学会等名 国際シンポジウム「手工業考古黄華論壇 - 以塩業考古為中心」（国際学会）
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 劉海宇、玉澤友基	4. 発行年 2024年
2. 出版社 上海書画出版社	5. 総ページ数 322
3. 書名 太田夢庵中国金石収蔵與蔵品著録	

1. 著者名 劉海宇・玉澤友基	4. 発行年 2021年
2. 出版社 上海書画出版社	5. 総ページ数 299
3. 書名 日本岩手県立博物館蔵太田夢庵旧蔵古代璽印(精華版)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藪 敏裕  (Yabu Toshihiro)  (20220212)	岩手大学・教育学部・特命教授    (11201)	
研究分担者	玉澤 友基  (Tamazawa Yuki)  (40241492)	岩手大学・人文社会科学部・嘱託教授    (11201)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------